

しんめいばら

回 覧

第 188 号
2020.12.20

定期整備!

十二月十三日(日) 穏やかな初冬の朝を迎え、会員十五人の参加により今年最後の整備を行いました。公園内にはこれまでにないほど大量の落ち葉が積もり、竹の熊手を使って収集作業を行いました。コロナ禍で外出や身体を動かす機会を狭められていた会員の多くが作業開始直後、息切れや腰痛となり一時は心配されましたが、体が温まると共に徐々に元気を取り戻し、ゴミ袋五十袋の収集ができました。来年こそはコロナ禍が収束となることを願いつつ作業を終了しました。



息が切れる竹熊手の作業!

公園集会所!
十二月九日(水) 地盤改良、基礎工事が終わった集会所建設予定地で上棟作業が始まり、いよいよ集会所の姿が見えてきました。来年からは屋根や外壁工事、内装工事などが急ピッチで行われ、コロナ禍ですべての工程の遅延がありました。何とか三月に完成予定の目途が立ってきました。これまで多くの方から寄付が寄せられ、地域の皆様の期待の大きさを改めて感じましたが、完成の暁には周囲に花壇を新設する計画もあり、これまで以上の公園に蘇ることが期待されます。



上棟作業が始まり!

豆知識!

『鬼女蘭(キシヨラン)』

先日の静岡新聞に載った高山市民の森のキシヨランの記事を見ただしよつか。アサギマダラという蝶が蜜を吸うフジバカマのことは、これまで「豆知識」で二回書きました。キシヨランは、アサギマダラの幼虫が食べるツル植物です。美しい幼虫です。蝶はフジバカマの蜜を吸います。卵はキシヨランというツル植物の葉に産み、幼虫はその葉を食べます。キシヨランは多くない植物です。私は、今年入手したキシヨランのタネを播きました。初めての試みなので発芽するかわかりません。うまくいったら来年の春お知らせします。

*下の写真は
図鑑からコピー
したもの



キシヨランの実

綿のようなものは
タネを飛ばす冠毛を
外したものと
(11月、大石撮影)



キシヨランの葉

幼虫の食べた穴が見える

今日の公園!



今年も残り僅か!

お知らせ!



○ 一月の公園整備は十一日(祝)です。花壇整備、施肥、除草、落ち葉清掃、などの作業を行います。

○ 一月の回収、ピン・缶は二十六日(火)、古紙は二十四日(日)です。自治会の回収活動にご協力下さい。

○ 高松神明原公園愛護会は現在十九名の会員により公園の美化活動に取り組んでいます。自治会員に限らずごなだでも入会が出来ますので、ぜひご参加下さい。

連絡先・二三七五一八一 山本まで